

# Ticket Information

2022年  
**11月18日(金)19:00**開演  
 (18:00開場 / 20:40終演予定)※途中休憩はありません  
**ミューザ川崎シンフォニーホール**

**ミューザ川崎シンフォニーホール**  
 ※友の会先行発売初日は電話予約、Webのみで販売(10:00～)。  
**友 044-520-0200** (10:00～18:00)  
**友 チケットカウンター** (10:00～19:00)  
**友 ミューザ Webチケット** <http://muza.pia.jp/>  
 (24時間、火・水2:30～5:30を除く)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>  
 (24時間、火・水2:30～5:30を除く)

ミューザ川崎イープラス <http://eplus.jp/kawasaki/>

TOKYO SYMPHONYチケットセンター  
 044-520-1511 (平日10:00～18:00、土日祝休)

[料金 全席指定/税込] [ ] カッコ内はミューザ友の会会員料金  
**S席 ¥15,000 [ ¥13,500 ] A席 ¥12,000 [ ¥10,800 ]**  
**B席 ¥9,000 [ ¥8,100 ] C席 ¥6,000 [ ¥5,400 ]**  
 U25(小学生～25歳以下)各席種半額(友の会割引なし)  
 ※ミューザ友の会会員の先行予約・割引販売は友印にて受付。  
 ※U25はミューザとびあのみ販売となります。(電話・窓口・Web)  
 ※公演当日、U25をご利用の方に年齢を確認できるものの提示を求められる場合があります。

[発売日]  
 友の会先行 **6月20日(月)** Web先行 **6月23日(木)** 一般発売 **6月28日(火)**

主催：川崎市、ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)  
 共催：公益財団法人 東京交響楽団  
 助成：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション  
 後援：日本リヒャルト・シュトラウス協会



**ミューザ川崎シンフォニーホール**  
 〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310  
 Tel.044-520-0100(代) Fax.044-520-0103  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp>

2022年  
**11月20日(日)14:00**開演  
 (13:15開場 / 15:40終演予定)※途中休憩はありません  
**サントリーホール**

TOKYO SYMPHONYチケットセンター  
 044-520-1511 (平日10:00～18:00、土日祝休)

TOKYO SYMPHONYオンラインチケット  
<https://tokyosymphony.jp>

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

チケットぴあ <http://pia.jp/t/tso/>

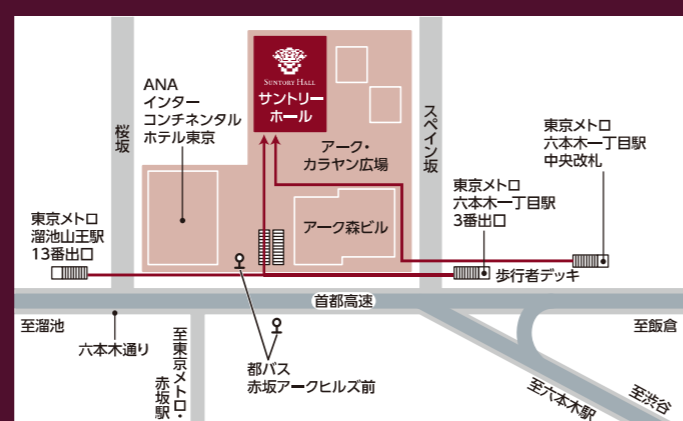
イープラス <http://eplus.jp/tokyoso/>

ローソンチケット 0570-000-407  
<http://l-tike.com/tso/>

[料金 全席指定/税込]  
**SS席 ¥15,000 S席 ¥12,000 A席 ¥9,000**  
**B席 ¥6,000 C席 ¥4,000**

[発売日]  
 東響会員先行 **6月21日(火)** 一般発売 **6月28日(火)**

主催：公益財団法人 東京交響楽団  
 助成：公益財団法人アフィニス文化財団  
 後援：日本リヒャルト・シュトラウス協会

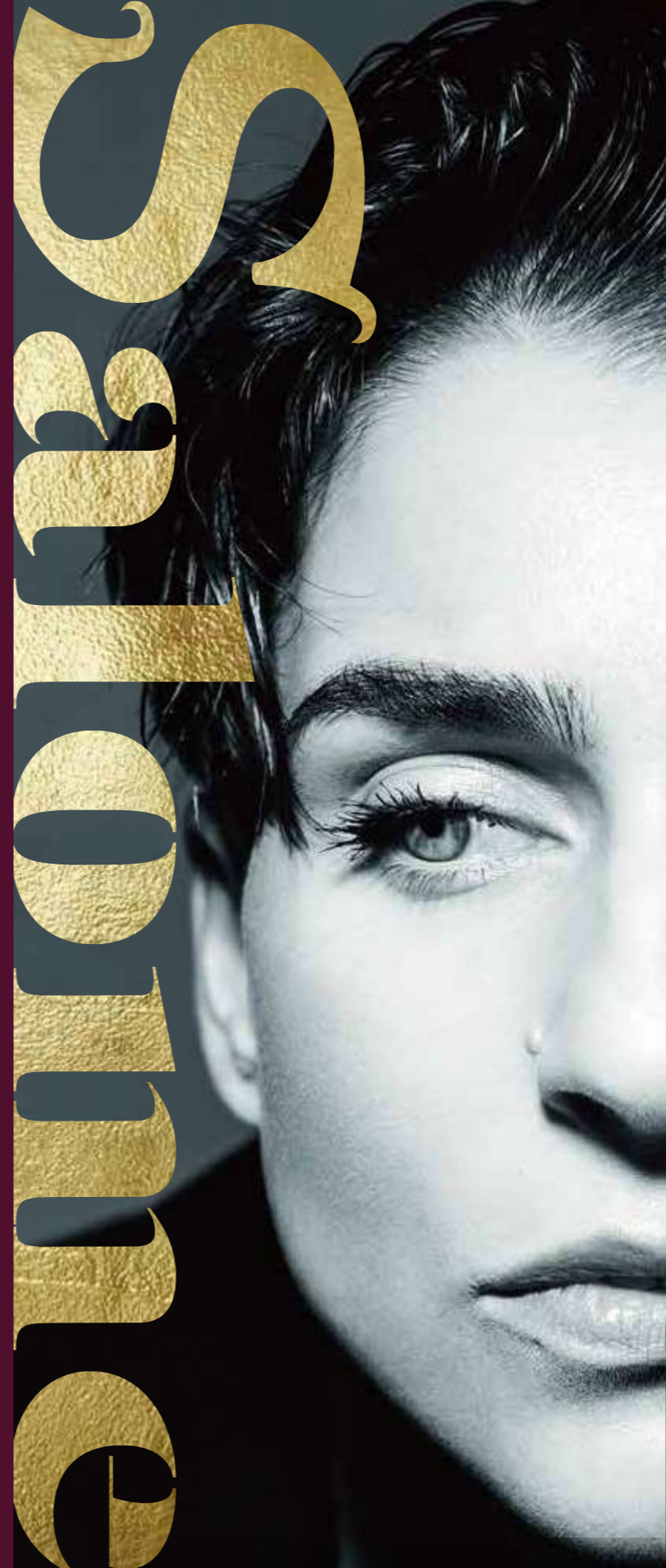


**サントリーホール**  
 〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1  
 Tel.03-3505-1001  
<https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/>

**新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご協力をお願いします**

ご来場の前に、「取り組みとお願い」を必ずご覧ください、常時マスク着用にてご来場ください。  
 体調不良が認められる際は、入場をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。

<チケットご購入にあたっての注意事項> ■会場にて平熱と比べて高い発熱があることが計測された方や37.5度以上の発熱があった方はご入場をお断りいたします。■会場では常時マスクの着用をお願いいたします。  
 ■感染者発生の場合、お客様の個人情報を保健所等に提供する場合もございます。■チケットお申込み後の変更・キャンセルはお受けできません。また一度お申込みいただいたチケットは、公演中止の場合以外は、キャンセル・払い戻しができません。■やむを得ぬ事情により、出演者・曲目・その他を変更する場合がありますので、予めご了承ください。■チケットの紛失等での再発行はいたしかねます。■営利を目的としたチケットの転売は、固くお断りいたします。■座席により、字幕が見つづい場合があります。■未就学のお子様の入場はご遠慮下さい。11/18ミューザ公演は託児サービスがあります。(公演日1週間前までに要予約・有料)。お問合せ・お申込みは「イベント託児@マザーズ」0120-788-222 (平日10:00～12:00 / 13:00～17:00) ■車椅子席・要予約 ■11/18ミューザ公演の点字プログラムをご希望の方は公演の1か月前までにお申し出ください。



# R.シュトラウス 歌劇 サロメ

(演奏会形式/全1幕/ドイツ語上演/日本語字幕付き)  
 R. Strauss: "Salome" (concert style in 1 act, sung in German with Japanese subtitles)

ジョナサン・ノット&東京交響楽団による  
 ダ・ポンテ3部作完結から4年  
 次なるステージはリヒャルト・シュトラウスの  
 コンサート・オペラ  
 第1弾は、歌劇「サロメ」!

指揮：  
**ジョナサン・ノット**  
 Jonathan Nott, Conductor  
 © K. Miura / TSO

サロメ：  
**アスミク・グリゴリアン**  
 (ソプラノ)  
 Asmik Grigorian, Salome (Soprano)  
 © Algirdas Bakas

ヘロディアス：  
**ターニャ・アリアーネ・バウムガルトナー**  
 (メゾソプラノ)  
 Tanja Ariane Baumgartner, Herodias (Mezzo-soprano)  
 © Dario Acosta

ヘロデ：  
**ミカエル・ヴェイニウス**  
 (テノール)  
 Michael Weinius, Herod (Tenor)  
 © Mats Backer

ヨカーナン：  
**トマス・トマソン**  
 (バスバリトン)  
 Tomas Tomason, Jochanaan (Bass-Baritone)  
 © Arthur Bauer

演出監修：  
**サー・トーマス・アレン**  
 Sir Thomas Allen, Direction  
 © Sussie Ahlburg

管弦楽：  
**東京交響楽団**  
 Tokyo Symphony Orchestra  
 © N. Ikegami

2022年  
**11月20日(日)14:00**開演  
 (13:15開場 / 15:40終演予定)※途中休憩はありません  
**サントリーホール**  
 Suntory Hall Sun. 20th November 2022, 2:00p.m.  
 no intermission

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA  
 Jonathan Nott, Music Director

2022年  
**11月18日(金)19:00**開演  
 (18:00開場 / 20:40終演予定)※途中休憩はありません  
**ミューザ川崎シンフォニーホール**  
 MUZA Kawasaki Symphony Hall Fri. 18th November 2022, 7:00p.m.  
 no intermission

# Salome

「見るオペラ」と「聴くオペラ」がある。R.シュトラウスの《サロメ》は斬り取られた首を求めてサロメが踊るといふ一見、おぞましいシチュエーションがあるので「見るオペラ」に傾きそうだが、精緻を極めたオーケストレーションは「聴くオペラ」でもある。実はそうした皮相にかかわらず、これは「精神を見るオペラ」である。それを表現するには、演奏陣に絶大な力がなければできない。ノット指揮の東響、歌手に世界トップクラスのグリゴリアン、バウムガルトナーらがそろった演奏会形式のこの公演ならば、それが可能だ。

アフィニス文化財団 オークストラ助成委員 梅津時比古

## <あらすじ>

月夜の暑いユダヤの地、ヘロデ王が宮殿で宴会を開いている。ヘロデ王の継娘サロメは退屈しているが、ヘロデから注がれる視線が気になっている。

サロメはヘロデから逃れるために外に出ると、地下から男の声が聞こえてくる。預言者ヨカナーンの声だ。彼はヘロデが自分の兄の妻ヘロディアスをめとったことに対して諫言したため、幽閉されている。

サロメは、預言者の見張り役のナラポートが自分に好意があることを利用して、ヨカナーンを地上に呼び出す。サロメはヨカナーンに魅了されていく。彼に口づけを求めると、拒否される。

そこにヘロデが現れ、宴会に戻るようにサロメに懇願するが、断られる。するとヘロデは、サロメが自分のために踊ることを条件に、サロメの求めるものを何でも与えると約束する。千載一遇のチャンスとばかりに、サロメは、ヘロデのために妖艶な舞を披露する。

「銀の器に、ヨカナーンの首を乗せてほしい。」とサロメはいう。ヘロデは孔雀や宝飾品など別のものを提案するがサロメは聞き入れない。くたびれ果てたヘロデは、部下に命令する。器の上に置かれた生首がサロメのもとに運ばれ、彼女は喜び、それに向かって口づけをし、歌う。ヘロデは、サロメの狂気沙汰に恐怖を覚え、部下に彼女を殺すように命じる。

## 指揮: ジョナサン・ノット (東京交響楽団 音楽監督)

Jonathan Nott, Conductor (TSO Music Director)



© K. Miura / TSO

イギリス生まれ。東京交響楽団第3代音楽監督、フランクフルトとウィースバーデンの歌劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、ルツェルン響首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、アンサンブル・アンテルコンタンポラン音楽監督、バンベルク響首席指揮者を経て、2017年よりスイス・ロマン管の音楽監督も務める。2010年、バンベルク響とのCDが、世界で権威あるフランスのMidem音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞。2009年バイエルン文化賞受賞。2016年バンベルク大聖堂にて、大司教より功労勲章を授与。2020年第32回「ミュージック・ベンクラブ音楽賞(オペラ・オーケストラ部門)」を、東京交響楽団とともに受賞。レコーディング活動においても多彩な才能を発揮。ウィーン・フィルやベルリン・フィルとの録音のほか、東響とはオクタヴィアレコードより9つのCDをリリースしている。

## ヘロディアス: ターニャ・アリアーネ・バウムガルトナー (メゾソプラノ)

Tanja Ariane Baumgartner, Herodias (Mezzo-soprano)



© Dario Acosta

ドイツ生まれ。フライブルク音楽大学でヴァイオリンを学んだ後、音楽を学ぶ。ザルツブルク音楽祭での「エレクトラ」/「リュテムネストラ」、ベンツェ「パッカスの巫女」アガウエ、パイロイト音楽祭とシカゴ・リリック・オペラでの「ラインの黄金」/「ワルキューレ」/「リッカ」で、現代を代表するメゾソプラノの地位を確立。最近の主な出演は、ウィーン国立歌劇場の「ローエングリン」/「オルトルート」、ジュネーヴ大劇場とアントワープのフランドル・オペラの「バルジファル」/「クンドリ」等があげられる。2009年からフランクフルト歌劇場のアンサンブルのメンバーとして、数多くのオペラや役柄に出演し、成功を収めている。オペラだけでなく、コンサートの分野でも幅広く活躍する。

## ヨカナーン: トマス・トマソン (バスバリトン)

Tómas Tómasson, Jochanaan (Bass-Baritone)



© Tómas Tómasson

アイスランド生まれ。レイキャビク音楽学校で学び、英国王立音楽院卒業直後に国際的な活動を始め、英国ロイヤルオペラ、ミラノ・スカラ座、トリノ王立歌劇場、マドリッド・テアトロ・レアル、ベルリン州立歌劇場、ジュネーヴ大劇場、ベルギー王立モネ劇場、ナポリ・サンカルロ歌劇場、バイエルン州立歌劇場、モンテカルロ歌劇場、ロサンゼルス・オペラなど世界の名だたる歌劇場に出演する。近年では、オピエド歌劇場、ジュネーヴ大劇場「ラインの黄金」/「ワルキューレ」/ヴォータン、シカゴ・リリック・オペラ、ベルリン州立歌劇場「バルジファル」/「クリングゾル」、ザクセン州立歌劇場、ロサンゼルス・オペラ「サロメ」/ヨカナーン等、数多く出演している。



© N. Ikegami



ヘロディアスの小姓  
杉山由紀 (メゾソプラノ)  
Yuki Sugiyama, The Page (Mezzo-soprano)



兵士1  
高崎翔平 (バス)  
Shohhei Takasaki, First Soldier (Bass)



兵士2  
狩野賢一 (バス)  
Ken-ichi Kanou, Second Soldier (Bass)



ユダヤ人1  
升島唯博 (テノール)  
Tadahiro Masujima, First Jew (Tenor)



ユダヤ人2  
吉田連 (テノール)  
Ren Yoshida, Second Jew (Tenor)  
© Ryoji Iwata



ユダヤ人3  
高柳圭 (テノール)  
Kei Takayanagi, Third Jew (Tenor)

## サロメ: アスミク・グリゴリアン (ソプラノ)

Asmik Grigorian, Salome (Soprano)



© T. Kolesnikov

リトアニア生まれ。リトアニア音楽演劇アカデミーで学ぶ。2016年に、国際オペラ・アワードの若手女性歌手賞、続いて2019年に女性歌手賞を受賞。ザルツブルク音楽祭のサロメ役においては、オーストリア音楽劇場賞2019の主演女優賞を受賞した。『蝶々夫人』タイトルロールでウィーン国立歌劇場にデビューしたほか、マドリッド・テアトロ・レアルでは、アイヴォー・ホルトン指揮による、新制作の「ルサルカ」タイトルロールでも注目を集めた。2021年は「さまよえるオランダ人」/「ゼンタ」/パイロイト音楽祭にデビュー。今夏行われる、ザルツブルク音楽祭では、フッチャーニ三部作「ジャンニ・スキッキ」/「修道女アンジェリカ」/「外套」の各ヒロイン役を務める。圧倒的な歌唱と存在感を放つ、今もっとも注目されるソプラノ歌手である。

## ヘロデ: ミカエル・ヴェイニウス (テノール)

Michael Weinius, Herod (Tenor)



© Mats Bäcker

スウェーデン生まれ。「コジ・ファン・トゥッテ」/「グリエルモ」でデビュー。数多くのバリトン役を歌ったのち、『イエヌーファ』で初のテノール役ラツァ・クレメニユを歌い、テノールに転向。オペラ・バステイユ、バイエルン州立歌劇場、フィンランド国立歌劇場、スウェーデン王立歌劇場等、欧州の数多くの歌劇場に出演。2018年にはドイツ・オペラ・アム・ラインの「ジークフリート」/「神々の黄昏」/「ジークフリート」役デビューを果たした。オペラだけでなく、コンサートにも定期的に出演している。2013年、カール16世スタッフより、名誉ある宮廷歌手の称号を授与される。

## 演出監修: サー・トーマス・アレン

Sir Thomas Allen, Direction



© Sussie Ahlburg

イギリス生まれ。世界の主要な劇場・音楽祭およびオーケストラに出演し、バリトン歌手としての確固とした地位を築く世界的な歌手。英国ロイヤルオペラでは50以上の役柄を歌っており、今年と同オペラでのデビューから50周年を迎える。英国ダラム大学学長も務める。2003年からはオペラ演出も手掛け、高い評価を得ている。2016年、ノット指揮モーツァルト:歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」(演奏会形式)へ演出監修とドン・アルフォンソ役、2019年にノット指揮シェーンベルク:「グレの歌」の語りで出演し、その圧倒的な存在感と歌声が絶賛される。

## 管弦楽: 東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

1946年東宝交響楽団として創立。文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞他、日本の主要な音楽賞のほとんどを受賞。川崎市、新潟市と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開する他、「こども定期演奏会」/「0歳からのオーケストラ」等の教育プログラムも注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。ウィーン楽友協会をはじめ海外公演も数多く行う。2020年、ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴し注目を集めるなど、ITへの取組みも音楽界をリードしている。



ナラポート  
鈴木准 (テノール)  
Jun Suzuki, Narraboth (Tenor)



ナザレ人1  
大川博 (バリトン)  
Hiroshi Okawa, First Nazarene (Baritone)  
© 平島平



ナザレ人2  
岸浪愛学 (テノール)  
Aigaku Kishimami, Second Nazarene (Tenor)



カッパドキア人  
高田智士 (バリトン)  
Satoshi Takada, A Cappadocian (Baritone)



ユダヤ人4  
糸賀修平 (テノール)  
Shuhei Itoga, Fourth Jew (Tenor)



ユダヤ人5  
松井永太郎 (バスバリトン)  
Eitaro Matsui, Fifth Jew (Bass-Baritone)



奴隷  
渡邊仁美 (ソプラノ)  
Hitomi Watanabe, A Slave (Soprano)

\*掲載内容は2022年5月時点のものです。\*やむを得ない事情により、公演内容が変更となる場合もございます。\*最新の開催情報は公式サイトでご確認ください。

# R.シュトラウス 歌劇サロメ

(演奏会形式/全1幕/ドイツ語上演/日本語字幕付き)

R. Strauss: "Salome" (concert style in 1 act, sung in German with Japanese subtitles)